

みなしご通信



クラウドファンディングTNR

岡山県備前市でのTNRは今回で2回目です。そも

そも私が2017年11月に同市で初のTNRをやろうと思ったのは先達さんである橋本さんの存在を知ったからです。橋本さんは1995年に起きた阪神淡路大震災のとき被災地のTNR活動を行われたボランティアさんです。当時、怖くて被災地に入る勇気がなかった私にとっては雲の上のま



たその上の存在です。

阪神淡路大震災が起きた頃の橋本さんは被災地の猫だけでなく地元・備前市日生地区の野良猫のTNRを高い手術代を出しながら単独でバリバリやっておられました。が、一番の協力者だったご主人が他界されたり、ご自身も足腰を痛めてしまったりで今はもうTNRは私たち後輩に譲られた感があります。だからこそ私たちは先に道を開いてくださった方に安心してもらえよう努力すべきじゃと思っていて、前回、備前で開催したわけです。

が、前回の備前TNRは《野良猫を連れて来た人が手術代を支払う》一般的な形なのに、港あたりで餌をばら蒔いているくせにイザとなったら「うちの猫じゃ

ない」と言つて逃げる無責任な餌やりも多く、まともに手術代を払ってくれる人が少なく、うちからの持ち出し分がふくらみました。橋本さんは私にかかる負担を少しでも減るように奮闘してくださいました。

それから半年の月日が流れどろしても《再び》私たちにTNRをやってほしかった橋本さんは、うちからの持ち出し金がなくても済むよう備前市役所に掛け合いTNRの予算案を提出。けれどこれがまた《田舎町あるある》で「猫ごときに市税が使えるか！」と反対する議員が出て予算案はあえなく撃沈。

しかし今度は備前市役所の保険課健康係に《TNRをするクラウドファンディング》を提案し、もともと賛成派の同市の田原市長もそれに賛同。備前市のホームページ内で挑戦することになりました。結果、TNRに対する世の関心の高さを物語るかのようにわずか20日間で予定額の手術代



【仲良しメロン&マリー】左がメロンちゃんです。2012年に檜葉町で保護しました。一年以上も毎日通っていた檜葉町のいつもの道に「たたずんで」いました。ミントを食べるマリー&メロン。マリーはメロンを可愛がり、メロンはマリーを慕っています。私たち家族ですもんね♪

100万円(200匹分)が集まりました。いっただったか橋本さんからクラウドファンディングに挑戦する：との話を聞いた私は『9月には実行できるかも』と予想して桂代ちゃんに連絡し執刀医を押さえしてもらいました。

9月18日、TNR会場は備前市役所日生支所防災センターです。広く快適な場所を《野良猫のため》にすんなりと貸し出す備前市、たいしたもんです。私は前から言うとりますが岡山県は東に行けば行くほど行儀が良く、西に行けば行くほど行儀が悪い。なぜならそ

の岡山の西にはさらに行儀の悪い広島があるから。いやいや、これホンマの話ですけえ！岡山県の東側に位置する備前市バンザイ！私はTNRの日の午前中は他の市町からの視察団に説明をしたり、マスコミからの取材を受けたり。なんだかんだクラウドファンディングに挑戦した備前市の取り組みを広く一般に知ってもらえるよう客寄せパンダになりきりました。

今回84匹の猫に手術をして、まだ116匹分の予算が残っているから、次回の岡山備前TNRは12月か1月にやります。

多頭崩壊者は：

福岡県で「TNR活動をしていた人」から「自分の家が多頭崩壊になっている」との相談を受けたのは7月のことです。有志3名ほどが集まって小さな団体を立ち上げ活動していたのですが、捕獲した子に身体的な問題があったりでTNRのR（元の場所に戻す）ができず3名の中で家庭環境や家屋の広さなどの条件が一番よかった相談者が多く、猫を抱えることになり、頑張っ

てはいたがいつの間にか団体は分裂し消滅したという「愛護団体あるある」な話でした。私も団体を立ち上げるずっと前から犬猫多頭飼養者で立ち上げた30代半ばあたりにはすでに犬猫150匹がいきましたから気持ちは痛いほどわかりますし、たまにたまうまくいっただけでも一歩間違えれば：他人事ではないように思いました。本人が素直に話してくれたこと、家族と直接会うことができたこと、引き取りは全面的にうちの都合に合わせてくれることなど努力が

いろいろ見られたので話はスムーズに進み、手術済み52匹と未手術62匹の猫からうちが104匹を引き取り手術済みの高齢猫10匹を残すことで合意。2カ月かけようやく多頭飼養現場の104匹の引き取り、不妊手術等の初期医療までのすべてが終わりました。

今回の多頭飼養者は「TNR活動をしていた人」なので猫たちは「自宅内で近親で増えた子」ではなく、うちこちらから集めた子たちだから、ほほほ顔や毛色がバラバラだし、その点は私

には救いです。体が弱く線の細い近親の子を見るのはいい加減心苦しいですからね。みんな術後の経過も問題なく随時自由の身になっている感じです。TNRしていた人が活動できなくなるのは私にとっても大きな打撃ですし、ましてや元の場所に戻せないことで多頭飼養崩壊につながるってのはとっても寂しいことです。私も『明日は我が身と肝に銘じながら精進していかねばならん』と強く思いました。そのためにはやはり保護したらずぐに不妊手術等の医療を施し清潔に住み心地のいい生活環境を整え続ける努力をす

【たた頑張るぞ】7月の終わりに引き取った犬「たた」。うちに来た日から毎朝皮下補液をしているので腎臓はおおむねよくなりましたが、消化吸収のいいものを食べてもぜんぜん太らないしイマイチ元気もないし貧血も治らないので再び検査をしたところ、肝臓にうっ血があったので胆のうが腫れているんだそう。心配した腫瘍ではな

かったけれど、うくん：まあ悩んでもしょうがないし！気持ち切り替え新たな治療にとりかかろうぜ！って

感じます。毎朝補液ですから毎朝首の後ろに針を刺されます。それでも逃げず、むしろ喜んでそばに寄って来ています。それは補液の間、ずっとヨシヨシして話しかけてもらえるから。たは前の飼い主からかわいがってもらっていなかったから、誰よりヨシヨシが大好きで、誰より話を真面目に聞いてくれます。たたの病気が治りますように。



11月の予定
3日||那須烏山TNR
20日||香川県豊島TNR
27日||安東小学校命の授業
29日||瀬戸内市野良猫問題対策勉強会

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

NPO法人(特定非営利活動法人) **犬猫みなしご救援隊**
www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
〒731-0234
広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページ
(http://www.minashigo.jp/newpaper/index.html)に掲載しております。

スマホをかざすだけで募金ができる
かざして募金
JAPAN GIVING

ソフトバンクの「かざして募金」、ジャパングビングで寄付ができます。
(https://japangiving.jp/supports/1281) 皆さまからのご支援、よろしくお願